

平成30年12月11日

上田市立菅平小学校保護者 様

上田市立菅平小学校長 笠原 利幸

平成30年度全国学力・学習状況調査の結果から見える 菅平小学校の子どもたちの学力や学習の様子

平成30年4月に全国学力・学習状況調査が実施され、全国の6年生が参加しました。国語・算数・理科の「教科に関する調査（知識・技能）」と「生活習慣や学習状況に関する調査」の結果がまとまりましたので、概要をお知らせします。

なお、この調査結果は、児童の身につける学力の一部であることをご理解ください。

1 学力について

＜本校と全国平均正答率の比較＞

今回参加しました、国語 A（主として「知識」に関する問題）・国語 B（主として「活用」に関する問題）、算数 A（主として「知識」に関する問題）・算数 B（主として「活用」に関する問題）、理科（主として「知識」・主として「活用」に関する問題）の本校の平均正答率は、全国の平均正答率を下回っている結果でした。

①国語

国語Aの「書くこと」の領域で全国平均を上回りました。「話すこと・聞くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の領域で全国平均を下回りました。また、国語Bの「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の領域で全国平均を下回りました。

＜優れた傾向＞

- 自分の想像したことを物語に表現するために、文章全体の構成の効果を考える。
- 登場人物の心情について、情景描写を基に捉える。
- 学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う。
- 目的や意図に応じて、文章全体の構成の効果を考える。

＜改善すべき傾向＞

- 相手や目的に応じ、自分が伝えたいことについて、事例などを挙げながら筋道を立てて話す。
- 目的に応じて必要な情報を捉える。
- 文の中における主語と述語との関係などに注意して、文を正しく書く。
- 話し合いの参加者として、質問の意図を捉える。

②算数

算数A・算数Bともに「数と計算」「量と測定」「図形」「数量関係」の領域で、全国平均を下回りました。

＜優れた傾向＞

- 小数の除法の意味について理解している。
- 合同な正三角形で敷き詰められた模様の中に、条件に合う図形を見いだすことができる。
- 示された考えを解釈し、条件を変更して数量の関係を考察し、分配法則の式に表現することができる。

＜改善すべき傾向＞

- 1に当たる大きさを求める問題場面における数量の関係を理解し数直線上に表すことができる。
- 十進法位取り記数法で表された数の大小について理解している。
- 示された考えを解釈し条件を変更して考察した数量関係を、根拠を明確にして式や言葉を用いて記述できる。

③理科

「物質」の領域は、全国平均と同等でした。「エネルギー」「生命」「地球」の領域で、全国平均を下回りました。

<優れた傾向>

- より妥当な考えをつくりだすために、複数の情報を関係付けながら、分析して考察できる。
- 物を水に溶かしても全体の重さは変わらないことを食塩を溶かして体積が増えた食塩水に適用できる。
- 実験結果から言えることだけに言及した内容に改善し、その内容を記述できる。

<改善すべき傾向>

- 調べた結果について考察する際に、問題に対応した視点で分析できる。
- 堆積作用について、科学的な言葉や概念を理解している。
- 太陽の1日の位置の変化と光電池に生じる電流の変化の関係を目的に合ったものづくりに適用できる。

2 学習状況について

<学習習慣等に関するアンケートの比較>

菅平小学校の子どもたちは、おおむね規則正しい生活をして、目標をもって学習しています。一方、社会へ関わろうとする積極性がやや下回る傾向にあります。

◇児童への質問から

<優れた傾向>

- 基本的な生活習慣ができています。
- 先生との関係が良い。
- 好きな授業がある。
- 与えられた課題（宿題など）をこなそうとする。
- 地域や社会で起こっている問題や出来事に興味がある。
- 地域の大人に勉強やスポーツを教えてもらったり、一緒に遊んだりすることがある。

<改善すべき傾向>

- 自分のよさに気づいたり、自信をもったりしている。
- 将来の夢や目標を持つ。
- 授業の予習や復習。
- 学校の授業時間以外の学習時間。
- テレビやビデオ・DVDを見たり、ゲームをしたり、インターネットをしている時間。

3 上記の結果をふまえ本校で大切にしていきたいこと

- ◎少人数の良さをいかして、一人ひとりの得意・不得意を見極め、個に応じたきめ細かな指導を行いながら、国語・算数ともに、基礎基本の定着をめざします。
- ◎1時間の授業の終末に「見とどけたい子どもの姿」から授業を構想し、毎時間の授業の「ねらい」を明確にするとともに、児童が興味関心をもって学習できる単元展開・授業展開を工夫していきます。
- ◎宿題の工夫を通して授業と家庭学習をつなぐとともに、「紡ぐ」を活用して学習習慣の育成を図っていきます。また、社会への興味関心が高まるような工夫をしていきます。
- ◎子どもたちの学習の実態に応じて、これから学習する内容につながる準備問題（予習）や、既習事項が定着しているかの確認問題（復習）にも取り組んでいきます。
- ◎学級活動や道徳教育の指導において、自分のよさに気づいたり、将来に向けて夢や目標をもったりすることができる取り組みを充実させていきます。

菅平小学校の子どもたちの健やかな育ちのために、これからも学校と家庭・地域が協力し合って学力向上に努めてまいりたいと思います。よろしくお願いいたします。

上田市立菅平小学校
担当 教頭 梅本裕之
TEL 72-2014